

令和7年度

# 羽ノ浦小学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自ら学び・考え、ともに高め合える授業の実践
- ねばり強く学習に取り組む態度の育成

校長

森北 和典

学力向上推進員

教頭: 福島明子 教頭: 田村卓也 教務: 岩川計成  
 特支: 日下優美 村崎智子 1年: 米崎香織 2年:  
 山本倫梨子 3年: 鈴木真砂子 4年: 沖野真実 5  
 年: 松岡沙知子 6年: 中磯千佳子

### 【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習に前向きに取り組む児童が多く、基本的な学習内容は定着している児童が多い。 ●活用や説明する問題は苦手な児童がいる。また、学力の二極化が進んでいる。	・学習の構えができ、ともに学び合いながら該当学年の基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けて、適切に使うことができる。	・学年ごとに漢字テストを実施し、漢字の定着を図る。 ・算数補充プリントを活用する。必要に応じて前学年の学習内容の補充を行う。 ・「羽小っ子の学習ルール」を各教室に掲示し、学習規範の徹底を図る。	タブレットの漢字のフラッシュカードやドリルパークを用いて、基礎・基本の学習内容の定着を図る。	・漢字・計算等の基礎・基本の学習内容については、スキルの活用や小テストの実施により定着しているが、まだ個人差もある。 ・学習規範についても、ほとんどの児童が定着してきつつある。	・自主学习などで反復練習をする時間を確保し、ミライシードなどのタブレットの効果的な活用を図る。 ・学習のルールを適宜確認して学習規範の徹底を図る。

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○創作活動などに継続的に取り組んできたため、豊かな表現力を身に付けた児童が育ってきている。 ●自分の考えや意見を進んで表現する児童は限られている。また、語彙が少なく、分かったことや自分の考えを書き表すことが苦手な児童が多い。文章や資料等から必要な情報を正しく読み取ることが苦手な児童が多い。	・語彙力・読解力を高め、自分の思いや考えを進んで表現し合うことができる。 ・調べ学習や話し合い活動においてタブレットを用い、考えを深めたり、友達の考えを理解したりできる。	・ホワイトボードや付箋・タブレットなどの活用、話し合い形態の工夫や手引き書の作成などで言語活動の充実を図る。 ・授業や集会活動などで、自分の思いや考えを発表したり書いたりする機会を多く設ける。 ・読書の時間を定期的に設け、語彙の量と質の充実を図れるよう読書活動を推進する。	自分の考えを書いたり、図を使って説明したりして友達と比べる活動や話し合う活動を設けて考えを深められるようにする。いろいろなジャンルの本を読む機会を作る。	・ペアで話し合ったり、発表の仕方を身に付けたりして、自分の考えの理由を説明できる児童が増えたが、まだ考えを深めるところまでは至っていない児童もいる。 ・調べ学習や日記などの記述する活動を継続することで、自分の言葉で考えを表現する力が付きつつある。 ・読書の時間を設け、読み聞かせや自分に合う本を見付けるよう促すことで、読書に親しむことができた。	・考えたり予想したりする時間を取り、ノートに書いたり、話し合ったりする機会を確保していく。 ・思考ツールなどの視覚的に分かりやすい方法を取り入れたり、思考の流れや根拠を説明したりして判断力や表現力の向上を図る。

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いて学習に取り組む、与えられた課題に真面目に取り組む児童が多い。 ●自分から課題を見付けたり、不得意な学習内容に対して、自分で計画を立てて克服をしようとする児童が少ない。	・見通しをもって、ねばり強く課題や家庭学習に取り組む、高め合うことができる。	・フィードバックを行い、児童が学習の成果や課題に気づき、進んで努力できるようポジティブな支援をする。 ・「家庭学習の手引き」の周知・活用、「家庭学習チャレンジシート」により、自主的・主体的に家庭学習に取り組む態度を育成する。 ・「羽小授業モデル」に沿った授業を展開し、児童が本時や次時の課題を明確にもてるようにする。	めあてを提示し、課題の解決や間違いを直す活動にねばり強く取り組む態度が身に付けられるよう支援を継続していく。「家庭学習チャレンジシート」の項目を意識して、自主学习にさらに取り組めるようにしていく。	・定着しにくい内容を振り返る時間を設けたり、自分で見直しをする習慣を身に付けることで粘り強く取り組む態度が身に付きつつある。 ・「家庭学習の手引き」や「家庭学習チャレンジシート」を活用して、家庭と連携することで、自主的に家庭学習に取り組む児童が増えたが、まだ個人差はある。	・めあての提示と振り返りの活動を継続し、学習で身に付けたことを活用して課題に取り組めるように支援していく。 ・学習のポイントやテストの範囲を周知したり、内容を工夫している自主学习ノートを紹介したりして、情報を共有し、意欲を高めながら学習内容の質を上げていく。